

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

令和7年1月23日 開会 10時14分 閉会 10時25分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

沖久教人	三宅孝之	多賀信祥	柳原英子
山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎	荒木謙二
柳井一徳	惣台己吉	坊野公治	上野安是
西田久志	大滝文則	宮地俊則	佐藤豊

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 三宅文雄

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総合政策部長	安東慎吾
総務部長	藤原雅彦	健康福祉部長	沖津幸弘
総合政策部次長	岩本展到	総務部次長	片井啓介
健康福祉部次長	岡崎祐一	企画振興課長	片山直紀
財政課長	西本晴雄		

(3) 事務局職員

事務局長 和田広志 次長 成智千恵

6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 1名

7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 本会議に引き続き、御苦労さまです。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長の御挨拶をお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 改めまして、皆さんおはようございます。

本会議に引き続いての委員会への御出席、大変ありがとうございます。

昨日でございますが、井原鉄道株式会社の不祥事の報道がなされたところであります。こういった不祥事が発生しますと、一瞬にして組織としての信頼が失われてしまいます。それこそ持続可能な公共交通機関とするよう経営改善のための運賃の値上げを発表した矢先の出来事ということであります。私は井原鉄道株式会社の取締役を務めておりまして、大変残念に思っておりますとともに、皆さんに大変申し訳なく思っているところであります。再発防止策を徹底して、皆さんの信頼の回復にしっかりと努めていきたいと思っております。大変申し訳ありませんでした。

そういった中、今回の委員会に付託されております案件につきましては、令和6年度井原市一般会計補正予算（第7号）でございます。皆様方におかれましては、慎重に御審議をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

〈議長挨拶〉

〈議案第1号 令和6年度井原市一般会計補正予算（第7号）〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

〈歳出第20款 民生費〉

〈なし〉

〈歳出第40款 商工費〉

委員（上野安是君） 商品券の金額は3,000円なんですけれども、これの仕様は、例えば1,000円掛ける3枚とか、500円掛ける6枚とか、あるいは3,000円がそのまま1枚なのか、それは既に決まっておりますか。

総務部次長（片井啓介君） 500円つづり6枚、使用方法是もう御本人にお任せになりますが、お釣りは出ませんということになります。

〈なし〉

〈一般会計補正予算全般についての質疑〉

委員（佐藤 豊君） 元氣いばら★暮らし応援事業なんですけれども、暮らし応援券取扱店舗募集期間に申請があった事業者というふうにあるわけですが、同様の事業も前あったと思うんですけれども、前回どの程度の事業者が取扱店として応募されていたのか、それから今回はどの程度の取扱店を想定されておられるのでしょうか。

総務部次長（片井啓介君） 前回の店舗数でございますが、小規模店舗が２２１店、大規模が２０店、合計２４１店舗の取扱いとなっております。

今回につきましては手挙げ方式でございますので、これぐらいの数という想定はしておりませんが、市内全域で使えるように、商店の皆様、事業者の皆様には手を挙げていただきたいと思っております。

委員（宮地俊則君） 先ほどお聞きすればよかったんですが、住民非課税世帯臨時特別給付事業、説明資料の中ほどの申請等なんです、口座情報を把握している給付対象世帯はプッシュ型により支給となつとんです。このプッシュ型というのはどういったことなのでしょうか。

健康福祉部次長（岡崎祐一君） こちらの給付金の給付対象世帯であるというふうに、まず課税が非課税であるですとか、ということが確認ができておる状態でもって、口座情報も前回までの給付金で把握ができていような方については、何らその方からの手続を必要とすることなく振込によって給付を行うというのがプッシュ型でございます。

委員（柳原英子君） 元氣いばら★暮らし応援事業のほうで、この商品券を送る送り方っていうのはまだ決まっていんですか。どういうふうに。皆さんにも郵送で送られるんですか。

総務部次長（片井啓介君） 郵送になります。

委員（柳原英子君） 全世帯に郵送でということですか。

総務部次長（片井啓介君） そのとおりでございます。

委員（佐藤 豊君） すいません、１世帯当たり３万円、それから１８歳以下の子供１人当たり２万円というふうになってるわけなんですけれども、１世帯当たり３万円というのは分かるんですけれども、１８歳以下の子供１人当たり２万円という数字で、最高１世帯どの程度の金額がいく家庭があるのか、その辺のことまでは把握はされておられますでしょうか。

健康福祉部次長（岡崎祐一君） 個別の世帯に最高で何人いらっしゃるかといいところまでは把握はしておりませんが、基準日現在で該当してるところには複数のお子さんいらっしゃる方もありますので、該当の人数に応じた金額を支給していくこととしております。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（西田久志君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、慎重に御審議をいただきまして大変ありがとうございました。該当される世帯の方々に一日も早くお届けすることができるように、迅速かつ確実な業務の遂行に努めていきたいと思っております。本日は大変ありがとうございました。

〈議長挨拶〉

委員長（西田久志君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さん御苦勞さまでした。